巻頭特集

ユニークな取り組みで顧客を笑顔に
多度グリーンファーム

イチゴのシーズン到来!

「多度グリーンファーム」は、収穫体験や農産物直売所、甘味処、全天候型のバーベキュー場を備え、1年中楽しめる観光農園です。冬には、三重県最大級の規模を誇るイチゴ狩りがスタート。県内外から多くの人が訪れるなど、話題の観光スポットの魅力を探りました。

にぎわい創出のため イチゴ狩り農園を開業

多度グリーンファーム
代表 **横井 真人**さん

父が始めた農業を引き継ぎ、多くの人が楽しめる施設を作り上げてきました。16年前までは、ブラジルでプロサッカー選手として活躍していました

「まったく知識がないまま、手探りでのスタートでした」と振り返るのは、代表を務める横井真人さん。野菜の栽培と直売に携わる家業を継いだのは15年前のこと。それまでは、プロサッカー選手としてブラジルに居を構えていた異色の経歴の持ち主です。「スポーツをずっとしていたこともあり、負けず嫌いな性格。観光に特化し、にぎわいを創出したいとイチゴ狩り用の観光農園を始めました」と続けます。

初年度は、試験的にビニールハウス2棟からスタートしました。イチゴ狩りができる施設がこの地域にはまだなかった当時、農園は瞬く間に人気沸騰。予約が殺到したといいます。手ごたえを感じた横井さんは、翌年から少しずつ規模を拡大。今では26棟のビニールハウスで約6800株を栽培しています。「嬉しいことに、どれだけ育てても足りないほど、多くのお客様に楽しんでいただいています」と横井さん。シーズン中は、毎月15日から翌月の予約を受け付けますが、予約開始日は、1日中電話が鳴りやまないほどです。

生育状況を踏まえて来場者数を調整するため、インターネットでの予約は受け付けていません。「多くのお客様に楽しんでいただきたい反面、イチゴの成長をコントロールするのは難しい。生育状況の把握はもちろん、人数の調整にも気を配ります」と横井さんは話します。

さまざまな取り組みで 利用者の心をつかむ

「お客様の喜ぶ顔が一番」という思いを施設に反映。最大の特色は、栽培品種の豊富さにあります。その数はなんと17品種。1棟のビニールハウス内で複数を栽培しています。「品種によって栽培方法が少しずつ異なるため、やはり手間はかかります。いろいろな種類を食べ比べて楽しんでいるお客さまの姿を思うと、苦ではありません」と横井さん。成熟期の1月〜5月は、直売所に17品種全てが並びます。特定の品種を目当てに訪れるファンも増えてきました。

イチゴの棚の間隔が広く、2段になっているのも特徴。ベビーカーや車いすでの利用も可能です。「多くのお客様に楽しんでもらいたいという考えで、オープン当初からバリアフリー化に取り組んでいました」

2014年1月5日(イチゴの日)に、公式キャラクターとして誕生した「ごーたん」も、ファミリー層のリピーター増に一役買っています。

「ごーたん」の生みの親は、横井さん。施設を訪れる子どもたちに親しんでもらいたいと考案しました。「幼児が簡単に覚えられるよう簡潔で、イチゴに由来した名前にしたいと名付けました。今ではごーたんに会うために来てくださる方もいらっしゃるほど、皆様に愛着を持っていただいています。イチゴ狩りの開始前にごーたんが登場すると、子どもたちが大はしゃぎ。子どもたちがごーたんからなかなか離れず、予定時間に始められないため、見送り係に変更になりました」と微笑ましいエピソードを明かしてくれました。

東海一活気ある施設にし 地元・桑名を盛り上げる

12年前からは、近隣の保育施設の年長児をイチゴ狩り体験に招待。「地域の子どもたちにとって、思い出の場所となるように」との思いから、卒園前の恒例行事になっています。

「東海で一番活気がある観光農園」を目指して、桑名市の観光産業に貢献したいと考える横井さん。遠方からの予約に対して、農園を楽しんでもらうだけでなく、多度や桑名での1日プランを提案するなどして、桑名市の魅力をアピールしています。

「地元の方でも、まだ当園をご存じない方はたくさんいらっしゃるはず。自分の住んでいる地域にこんな施設があるのだということを、もっと多くの方に知ってもらいたいです。予約を取るのは大変かもしれませんが、一度お越しいただければ、必ず満足していただけると思います」と、横井さんは自信を見せます。毎年、少しずつ進化している多度グリーンファーム。来場者がワクワクする仕掛けづくりは、まだまだ続きます。

県内外から多くの人が訪れる多度グリーンファーム。人気のイチゴ狩りは必ず予約を

ここならではのイチゴ狩り体験にみんな笑顔

今年もたくさんのイチゴを用意して、待ってるよ!

多度グリーンファーム
公式キャラクター
ごーたん

1月5日生まれの、永遠の5歳。にぎわいを感じると家から飛び出して、来場者を歓迎するイチゴの妖精です

甘味処のカフェスペースでは、今年もパフェなど、イチゴを使ったスイーツが登場予定

❶1棟の中にいくつもの品種が植えられているため、一度に食べ比べができるビニールハウス ❷生育期間はハウス内にミツバチを飛ばし、受粉を促しています ❸来園者全員が時間いっぱい楽しんでもイチゴが無くならない量を確保するため、生育状況を確認し、予約人数の調整をします ❹2012年には、日本で初めてハウスの中にチョコレートファウンテンを設置しました

上) ビニールハウスの横にあるバーベキュー施設には、広々とした芝生スペースも完備。手ぶらで楽しめるためイチゴ狩りの前に昼食として楽しむ人も増えてきました
左) イチゴのフォトスポットを6年前に開設。SNSで広まり、若者から人気に

多度グリーンファーム
住所 桑名市多度町御衣野4132
電話 0594-48-7447

イチゴ狩りの予約は電話と現地のみで受付
(9:00〜17:00)
毎月15日から翌月の予約を開始
(12月15日から1月分スタート)

直売所には、園内で採れたイチゴのほか、県内産の青果物が並んでいます

文／中村恵理子　写真／多度グリーンファーム提供・青野穂波　デザイン／chica